

公共交通(つくバス・つくタク)の取組みについて

2017年4月

つくば市都市計画部総合交通政策課

「幹線＋支線」のシステムで交通ネットワークを構築しています。

- つくバスは、平成18年度から運行を開始し、平成23年度からは、現在の地域の主要な拠点とつくばエクスプレスの各駅を結ぶシャトル型の運行を実施しています。
- つくタクは、路線バス及びつくバスを補完するデマンド型交通で、予約制の乗合タクシーとして平成23年度から運行しています。

つくバス・つくタクエリア図

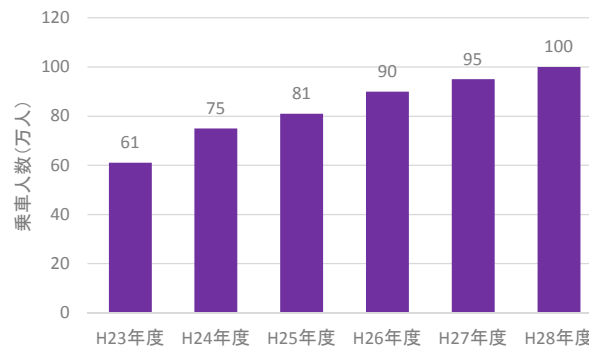


- 平成29年度は、つくバス、つくタクの改編を進めるため、市民の皆様を対象にした説明会を開催してご意見をお聴きしたり、アンケート調査等を実施します。「誰もが移動しやすいまち」を目指し、市民の皆様の移動をサポートしつつ、まちづくりを支える公共交通網の形成に着手します。

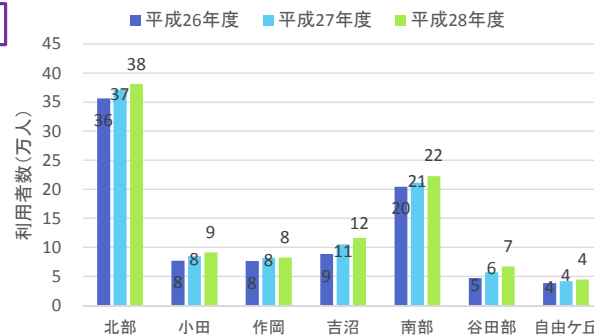
つくバス

- ✓ 毎年利用者数は増加し、平成28年度は、年間利用者数が約1,004,000人となった。
- ✓ 全路線とも利用者数は増加している。北部シャトル、南部シャトルの利用者が多い。
- ✓ 運行経費の総額は約4.4億円。利用料金収入は約2.0億円。利用者1人当たりにかかる運行経費は、443円。1人当たりが支払う料金は、196円。1人当たりに対して市が負担する金額は、247円となる。

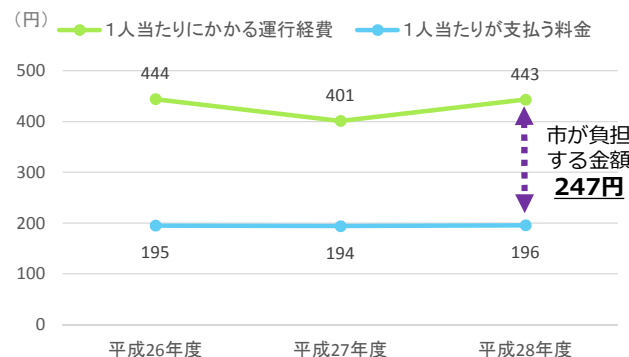
グラフ01: つくバス乗車人数



グラフ02: 路線別利用状況



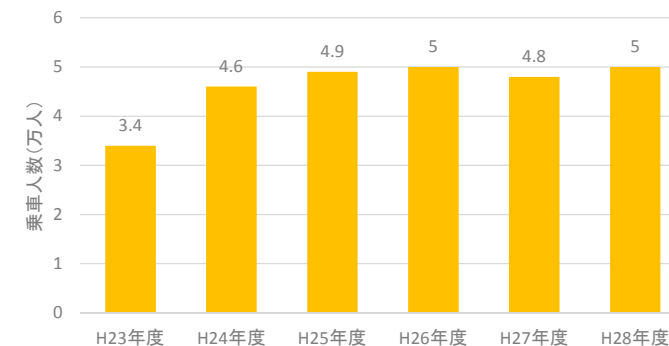
グラフ03: つくバス1人当たりの経費



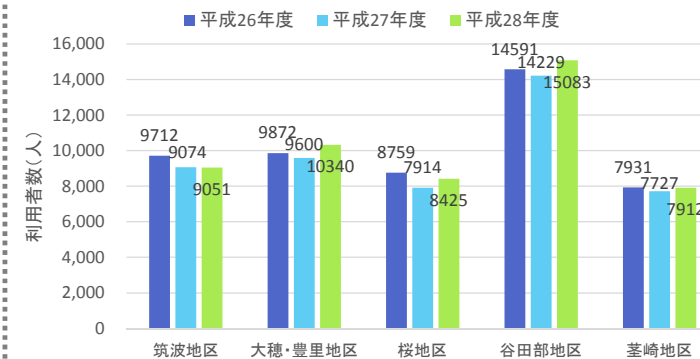
つくタク

- ✓ 平成28年度のつくタクの利用者数は、約50,000人となった。
- ✓ 全地区とも利用者数はほぼ横ばいとなっている。谷田部地区の利用者が他地区に比べ多い。
- ✓ 運行経費の総額は約1.4億円。利用料金収入は約1千万円。利用者1人当たりにかかる運行経費は、2,712円。1人当たりが支払う料金は、192円。1人当たりに対して市が負担する金額は、2,520円となる。

グラフ04: つくタク乗車人数



グラフ05: 地区別利用状況



グラフ06: つくタク1人当たりの経費

